SQL 文最適化の指標（スループット重視 or レスポンス重視）の設定

・オプティマイザとは、SQL 文のアクセス効率化のために実行計画を作成します。
・実行計画では、主にアクセスパスの選択（ 全表スキャン or ROWID スキャン or インデックス・スキャン ）、結合順序（ テーブルのアクセス順 ）、結合方法（ ネステッド・ループ結合 or ハッシュ結合 or ソート/マージ結合 ）の３つの計画を決定します
・実行計画の元となるデータは、オプティマイザ統計（オブジェクトの統計情報）を使用します

オプティマイザの実行計画作成の基本方針パラメータ
　初期化パラメータ　OPTIMIZER_MODE
　　スプープット重視　ALL_ROWS
　　レスポンス重視　　FIRST_ROWS_n　（n:何行までを効率化するかの行数の指定）
　　ただし、n：1 or 10 or 100 or 1000

［該当セッションだけの変更方法］
ALTER　SESSION　SET　OPTIMIZER_MODE　=　パラメータ値；

［初期化パラメーター―の変更方法］
ALTER　SYSTEM　SET
　　OPTIMIZER_MODE　=　"FIRST_ROWS_10"　SCOPE=MEMORY；

［現在の設定値の確認］
SHOW　PARAMETER　OPTIMIZER_MODE